

【ニューロング工業】

～葛飾の町工場ブランドとして～
製袋機ストーリーがマンガ化

【概要】

東京都葛飾区が認定する「葛飾ブランド」葛飾町工場物語は、葛飾区内に本社があるものづくり企業から生み出された、選りすぐりの製品や技術を対象としている。その一環として認定企業を地元で活躍する漫画家によるマンガ作品で、広く発信する活動を行っている。

ニューロング工業は、紙袋を生産する機械「製袋機」を製造しており、世界各国にトップブランドの1社として知名度がある。同社の製袋機で生産された紙袋は、世界中で展開するファストフードやアパレルブランド、百貨店などのショッピングバッグ、eコマースの宅配袋として使用されており、一般消費者にも馴染みの深いものとなっている。

このような製品が、地元東京都葛飾区のメーカーの機械で生産されていることを地域の消費者に知ってもらうことは同社の長年の夢であった。今回、葛飾ブランドとして認定されているマンガ化は、まさにその実現に向けての大きな一歩となった。

ニューロング工業の製袋機を紹介するマンガ



同社の他、光ファイバー断線検査機を作る㈱オプトゲート、金属板の精密加工技術を持つ磯村産業㈱等、ものづくり企業全7社が葛飾ブランドとして認定を受け、地元産業の活性化を図るとともに、も

のづくりの魅力を広く展開している。

葛飾区のスゴイノを届けた
専務取締役 長健人氏



「ニューロング工業は、1941年に『長ミシン商会』として工業用ミシンの修理、製造からスタートし、80年以上の歴史において包装産業での経験と技術を極め、社会の発展に貢献してまいりました。

我々の製品はB to Bマーケットとして製袋会社やイノベータなどの法人に納めているため、その事業内容が世間一般の皆様には知られることはそう滅多にありません。

また、グローバルな視野でみると世界情勢や円安、

製造業における人材確保やデジタル化の課題など山積みです。それでも、世界的に認められた日本の技術、製品をさらなる開発で発展させていきたいという一心と、我々自慢のマシンを広く地元の皆様へ知って頂き、葛飾区のスゴイノを届きたい。そして我々の活動がここで育つ子どもたちや地域の皆様への、地域貢献となればと思っております。今回、葛飾ブランドとして認定を頂くことで、「マンガ」として企業紹介して頂きました。これからも葛飾区のものづくりが広く知られ、ますます我々のものづくり産業と葛飾区の発展へとつながることを願っております」



葛飾区在住の漫画家上島カナナ氏によるニューロング工業の紹介マンガ